

SDGs の視点からの学習活動研究部会 研究活動記録

中間報告書 資料データ編

小学校

一般財団法人栃木県連合教育会

令和6年9月

SDGs の視点からの学習活動研究部会 アンケート回答結果

このアンケートは令和5年度に実施したものです。

県内の多くの学校、教員の方々、児童・生徒の皆さんからご回答いただきました。

この回答結果には質問項目すべてが入ってはありません。回答頂いた学校や個人が特定されるおそれのある部分は省きました。また、自由記述回答のうち回答数が多く掲載しきれないものは省きました。

- ・アンケート期間 令和5年6月13日～7月7日
- ・調査対象 県内小・中・高校・特別支援学校とその学校の教員、児童・生徒
- ・調査方法 高等学校はMicrosoft Forms、小・中学校はGoogle フォームを使用。
特別支援学校はGoogle フォームと質問用紙を使用。

回答結果

小学校

回答児童数 5,397名 回答教員数 534名 回答学校数 205校

中学校

回答生徒数 4,982名 回答教員数 184名 回答学校数 79校

高等学校

回答生徒数 1,482名 回答教員数 105名 回答学校数 29校

特別支援学校

回答児童生徒数 61名 回答教員数 30名 回答学校数 8校

合計児童生徒数 11,922名

合計教員数 852名

合計学校数 321校

※この結果についてのお問合せは下記にお願いいたします。

栃木県連合教育会 研究担当

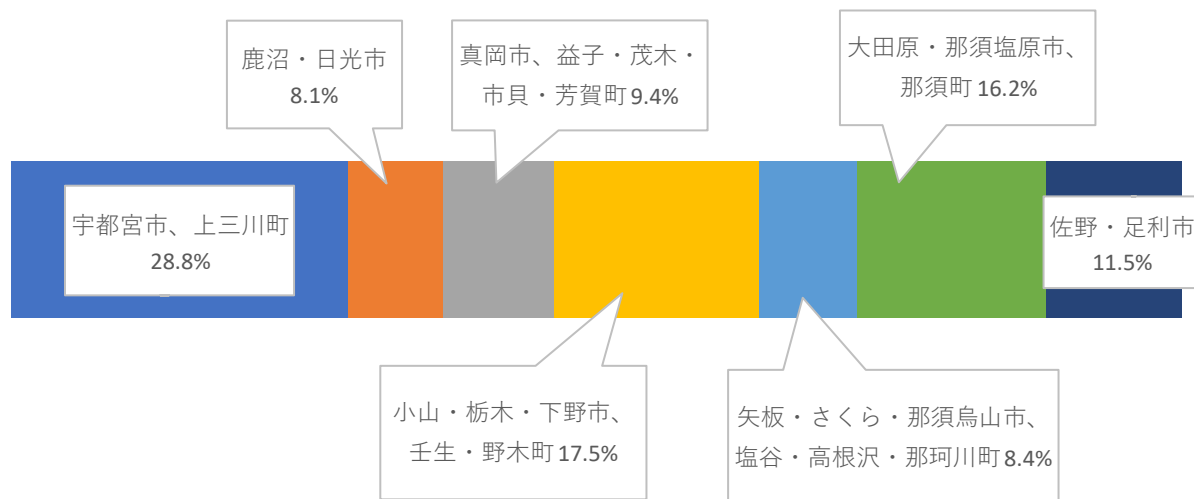
TEL 028-621-7216

Email kenkyu@tochigi.rk.jp

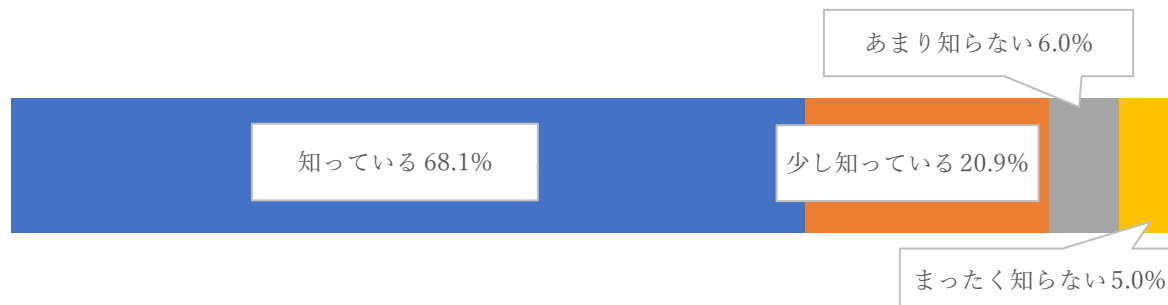
小学校 児童 回答

回答児童数 5,397 名

Q 1 あなたの学校のある市や町はどこですか。

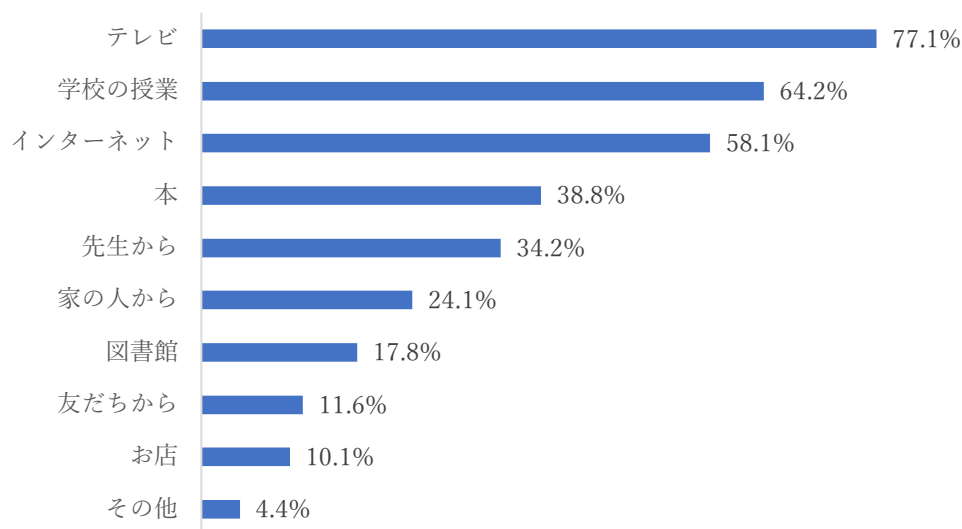


Q 2 「SDG s」という言葉を知っていますか。



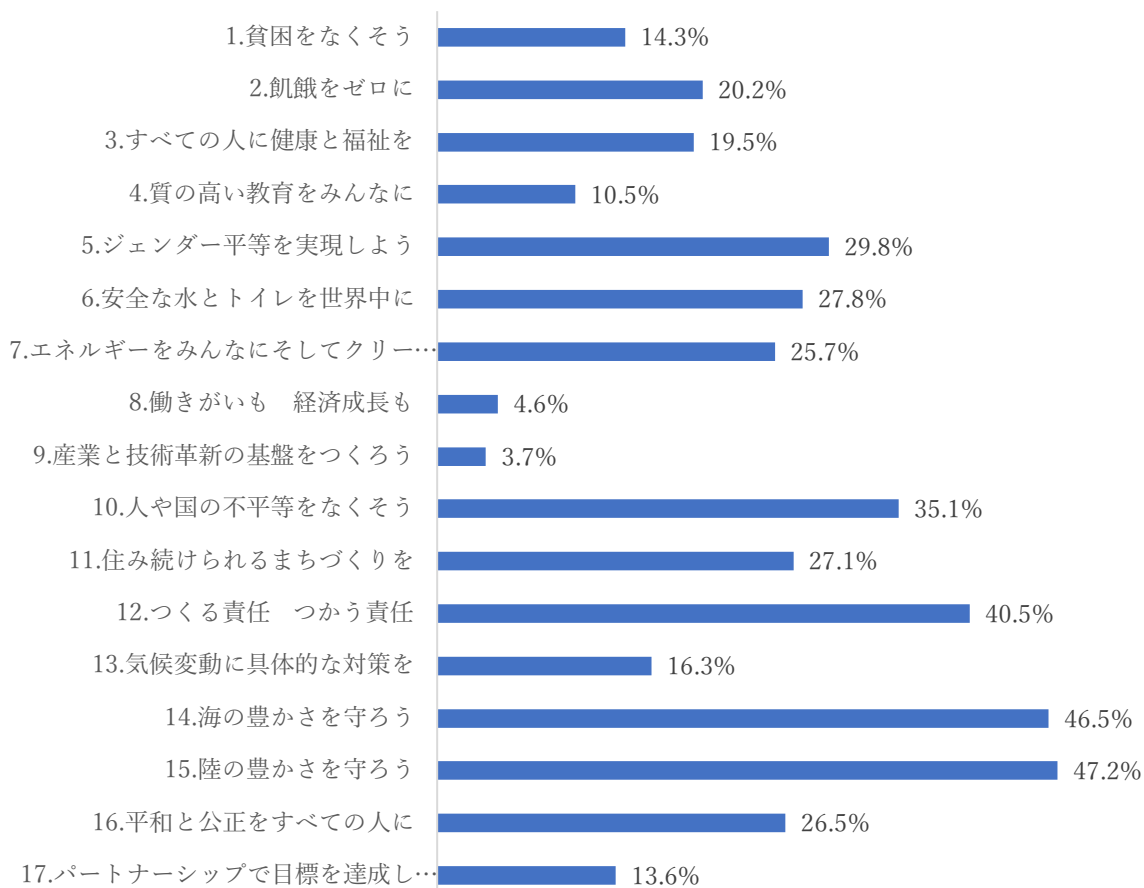
Q 3

「知っている」、「少し知っている」と答えた人にお聞きします。どこでSDGsについて知りましたか？（あてはまるものをすべてチェックしてください）
（複数回答可）



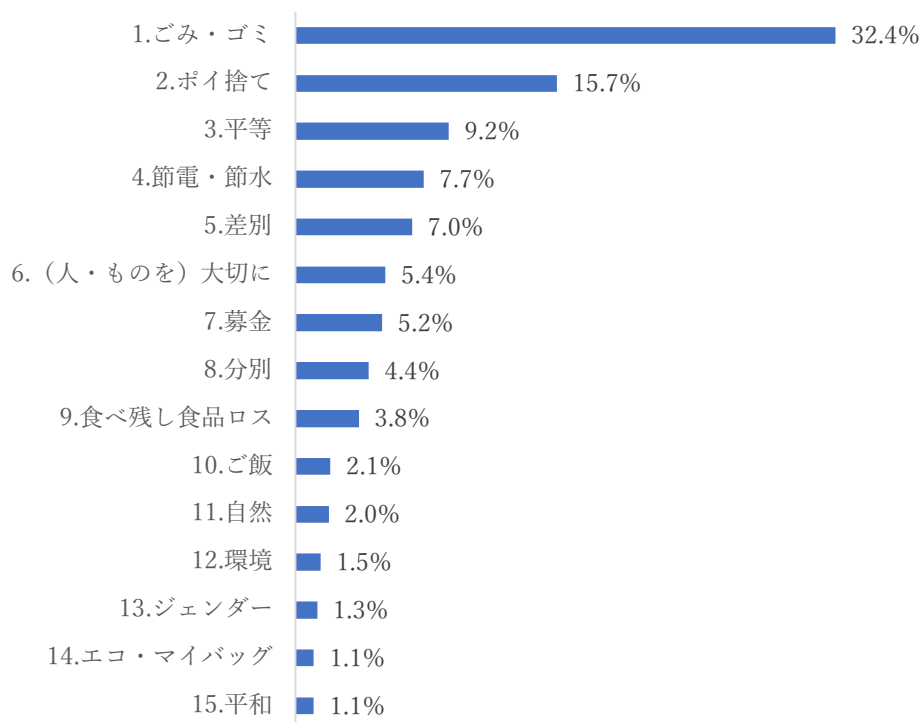
Q 4

SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組んでいると思う目標はどれですか？（複数回答可）

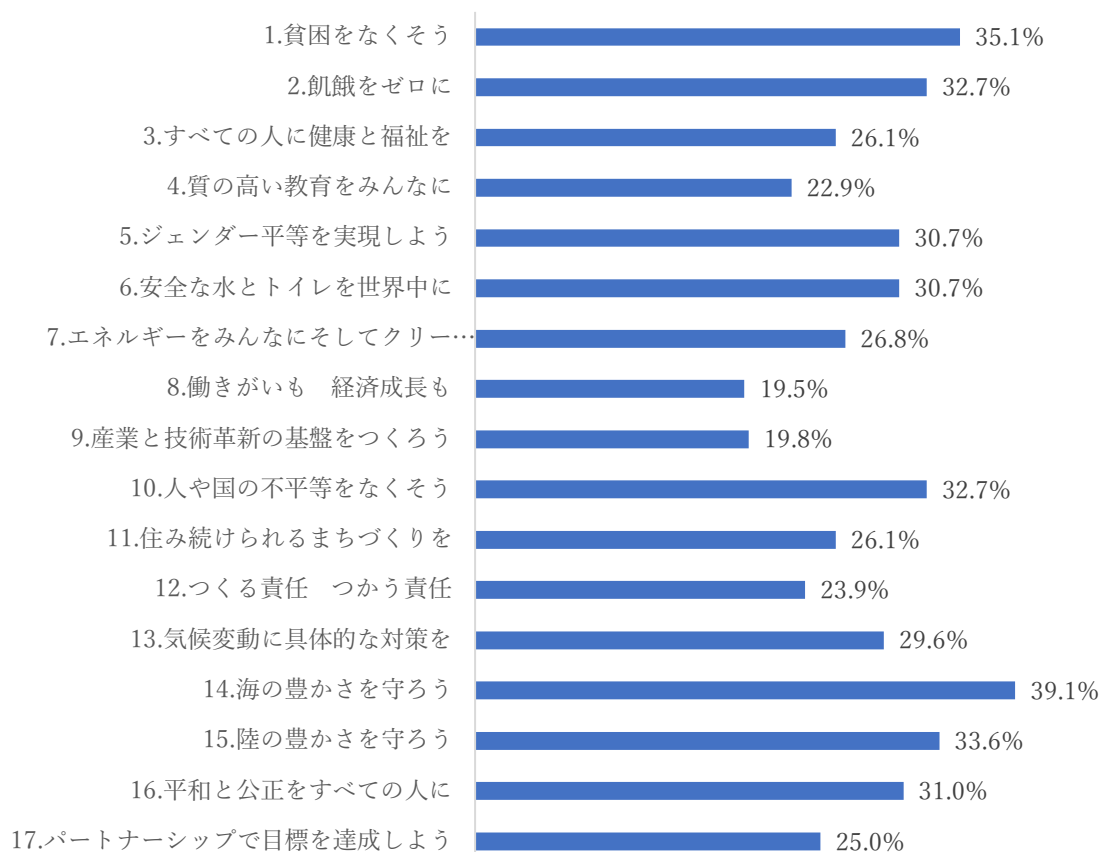


資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

Q 5 上の質問で、取り組めているものがあつた人にお聞きします。具体的にどんなことに取り組んでいますか。（複数回答可）



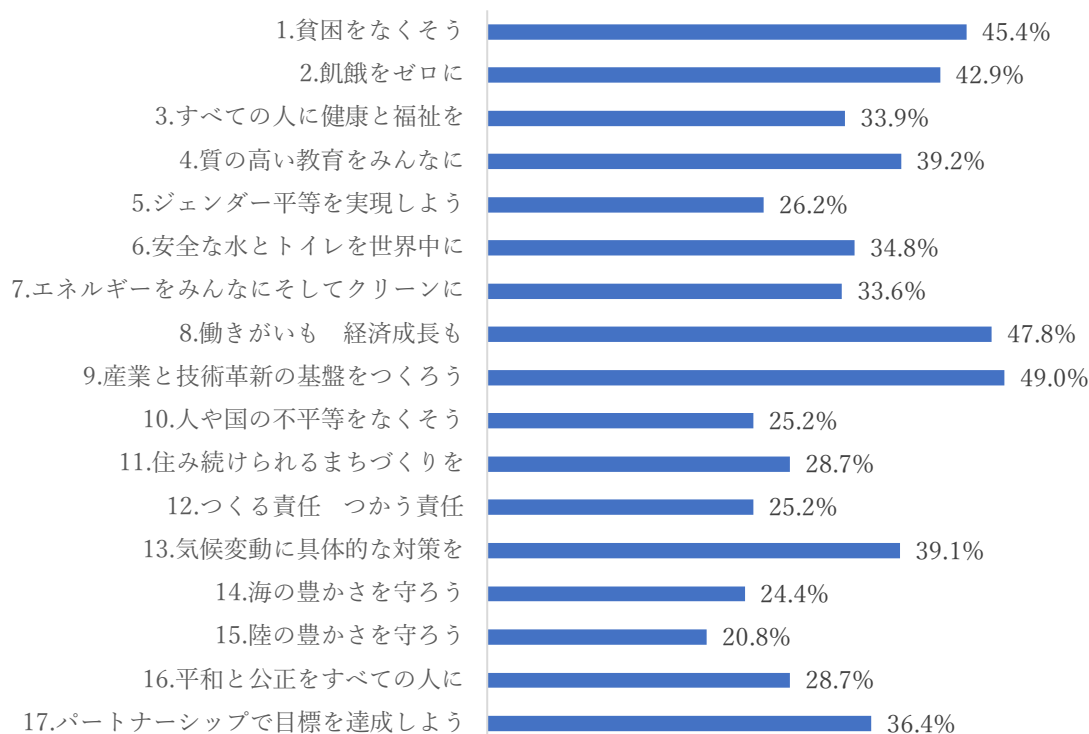
Q 6 17 の目標の中で、あなたが特に気になるものはありますか。当てはまるものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

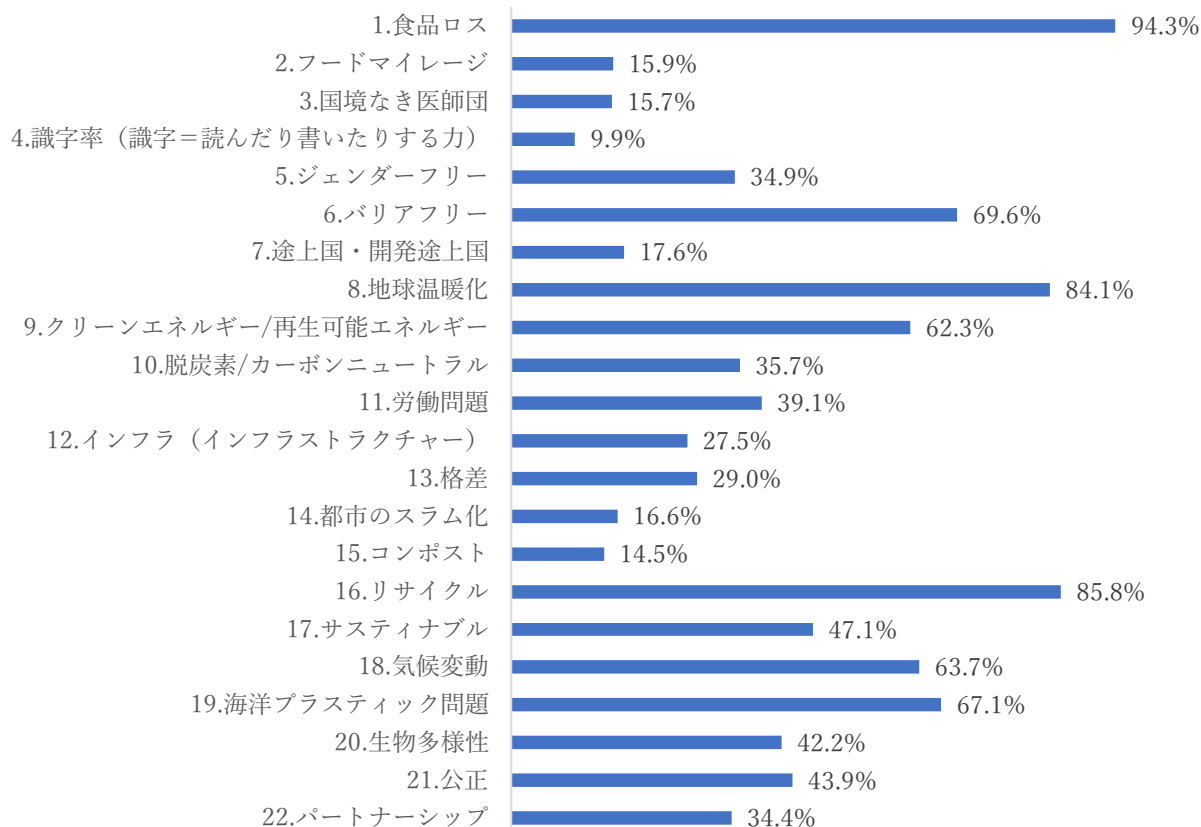
Q 7

SDG s とは「人が地球で暮らし続けていくために、2030 年までにたどり着く 17 の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組めていないと思う目標はどれですか？当てはまるものにチェックをして下さい。（複数回答可）

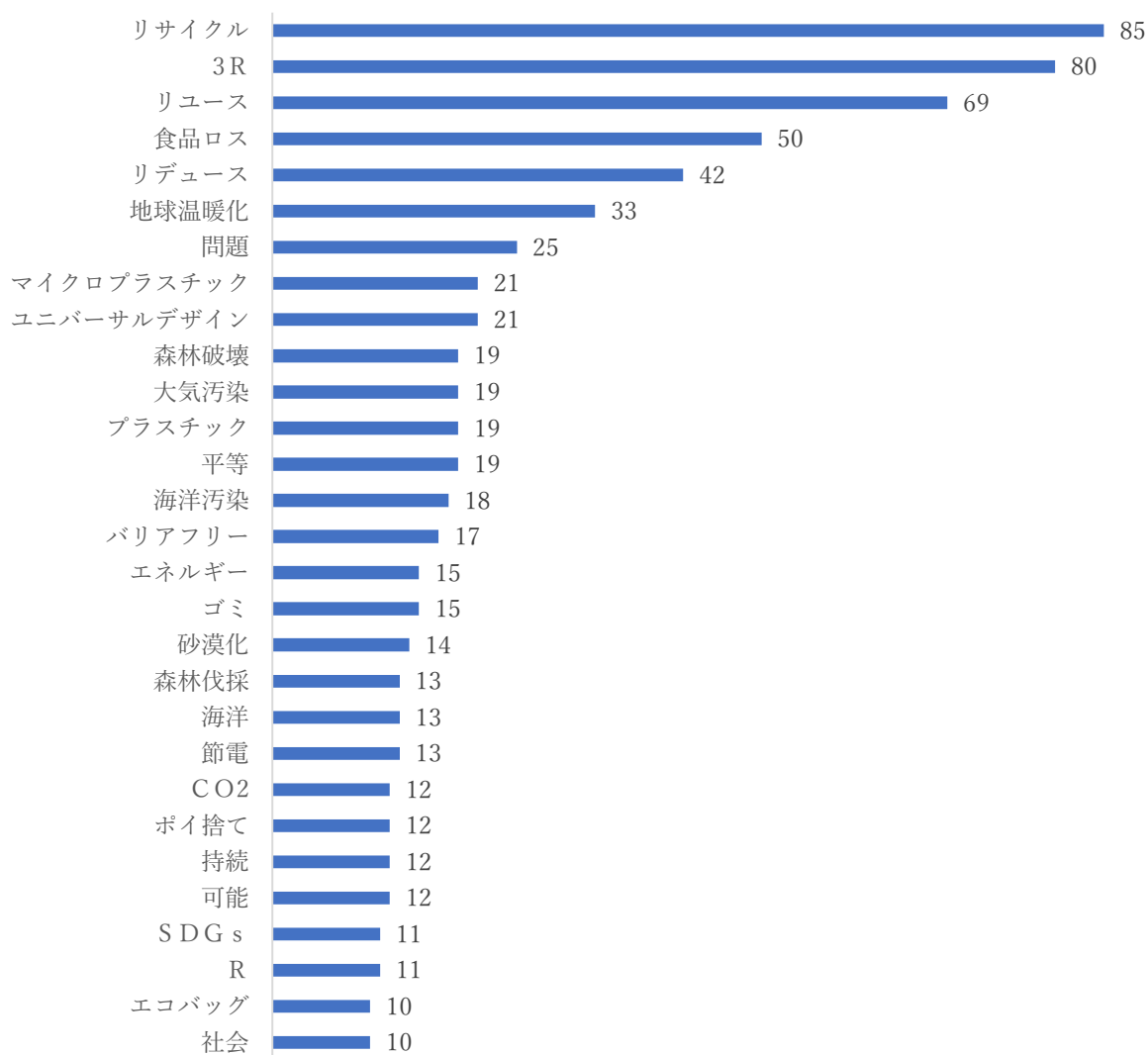


Q 8

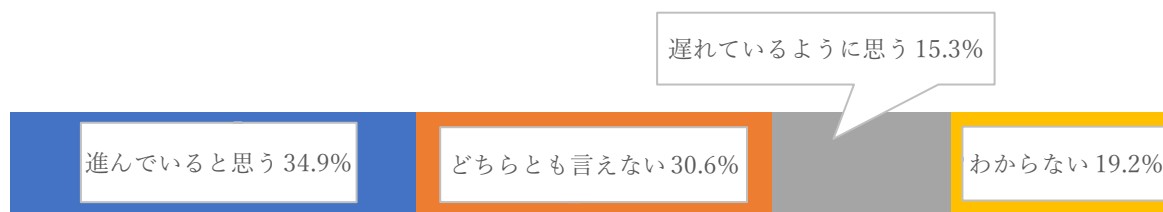
次の言葉はSDG s に関する言葉です。知っているものにチェックをして下さい。（複数回答可）



Q 9 上の質問にあった言葉の他に、SDGsに関する言葉で知っている言葉があったら書いて下さい。（複数回答可、数字は回答数）



Q 10 日本のSDGsの取組みは世界の中で進んでいると思いますか。



Q 11 前の質問であなたがそのように思った理由を書いて下さい。（回答数 4,159 件）

[主な回答]

進んでいると思う理由：環境にやさしい車が作られている、ニュースや広告でよく見る、近くのスーパーにリサイクルボックスがある、エコバッグを使う人が増えた、学校でクリーン活動を行っている、バリアフリーの場所がある

遅れていると思う理由：ゴミのポイ捨てがなくなる、食品ロスが多い、取り組んでいる人が少ない、地球温暖化が進んでいる、女性議員が少ない

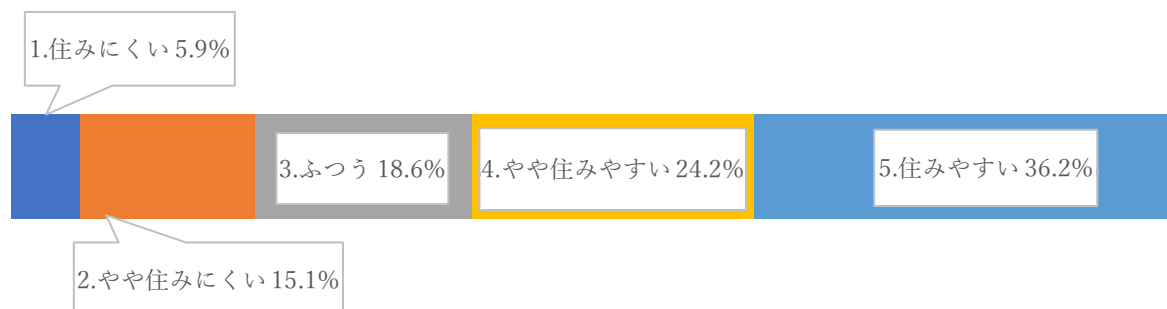
Q 12 今の地球の住みやすさは5段階のうちのどのくらいだと思いますか。

（1は「住みにくい」、5は「住みやすい」）



Q 13 未来の地球の住みやすさは5段階のうちのどのくらいだと思いますか。

（1は「住みにくい」、5は「住みやすい」）



Q 14 未来の地球の住みやすさについて、あなたが上の答のように思う理由を書いて下さい。

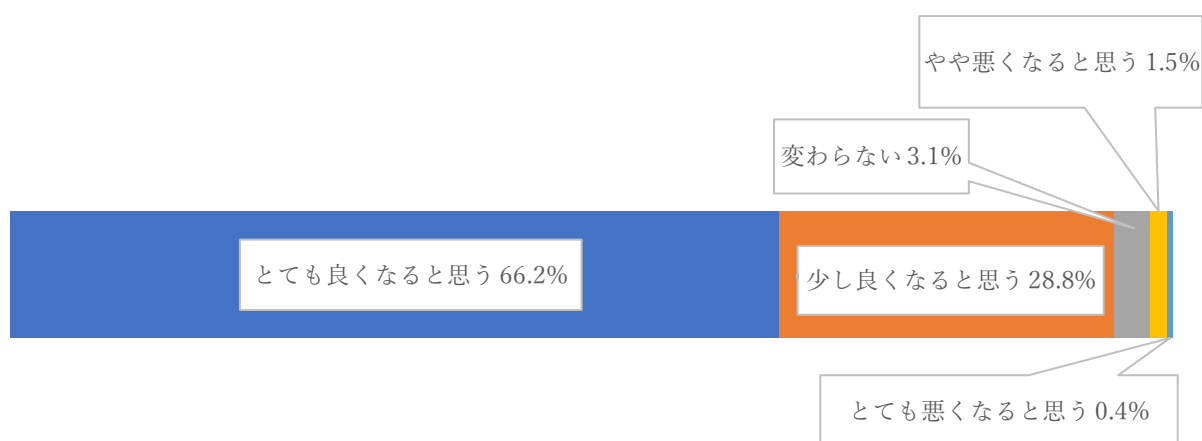
（回答数 4,493 件）

[主な回答]

住みにくくなる理由：地球温暖化が進んで暑すぎる、自然環境が悪くなる、食品ロスをしていitせいで食料がなくなる、AIが使われすぎて人間がなんとかしようと思わなくなる、戦争がなくなる

住みやすくなる理由：ゴミのポイ捨てが減っている、科学技術が進歩する、ロボットが開発される、SDGsの取り組みが進んで今より良くなっている

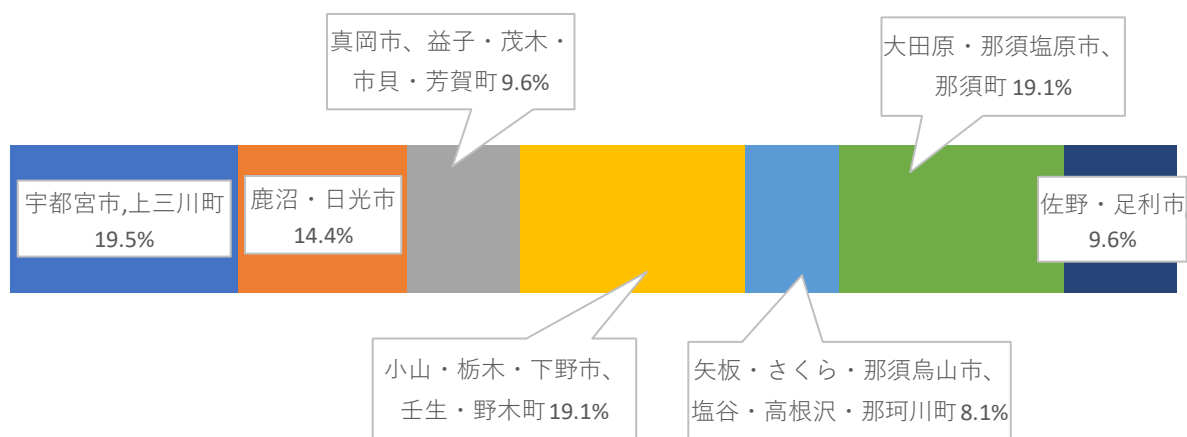
Q 15 SDGsに取り組むことで、地球の未来はどうなると思いますか。



小学校 教員 回答

回答者数 534 名

Q 1 お勤めの学校についてご回答ください。

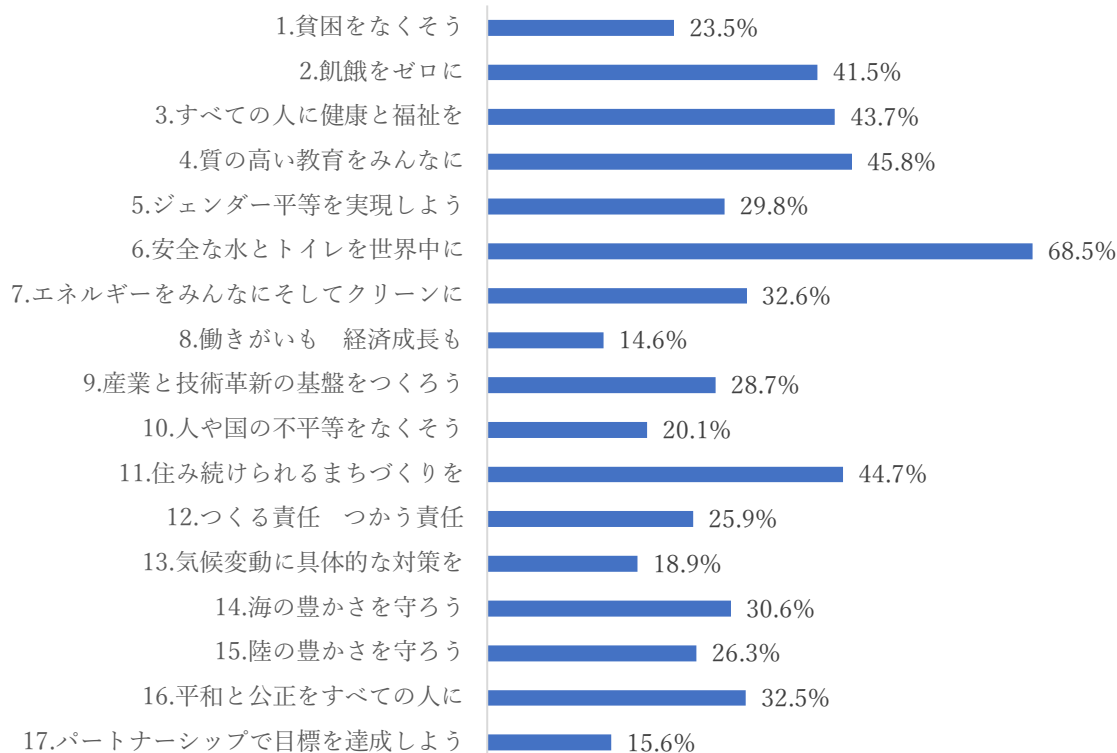


Q 2 SDG s についてはどれくらいご存知ですか。

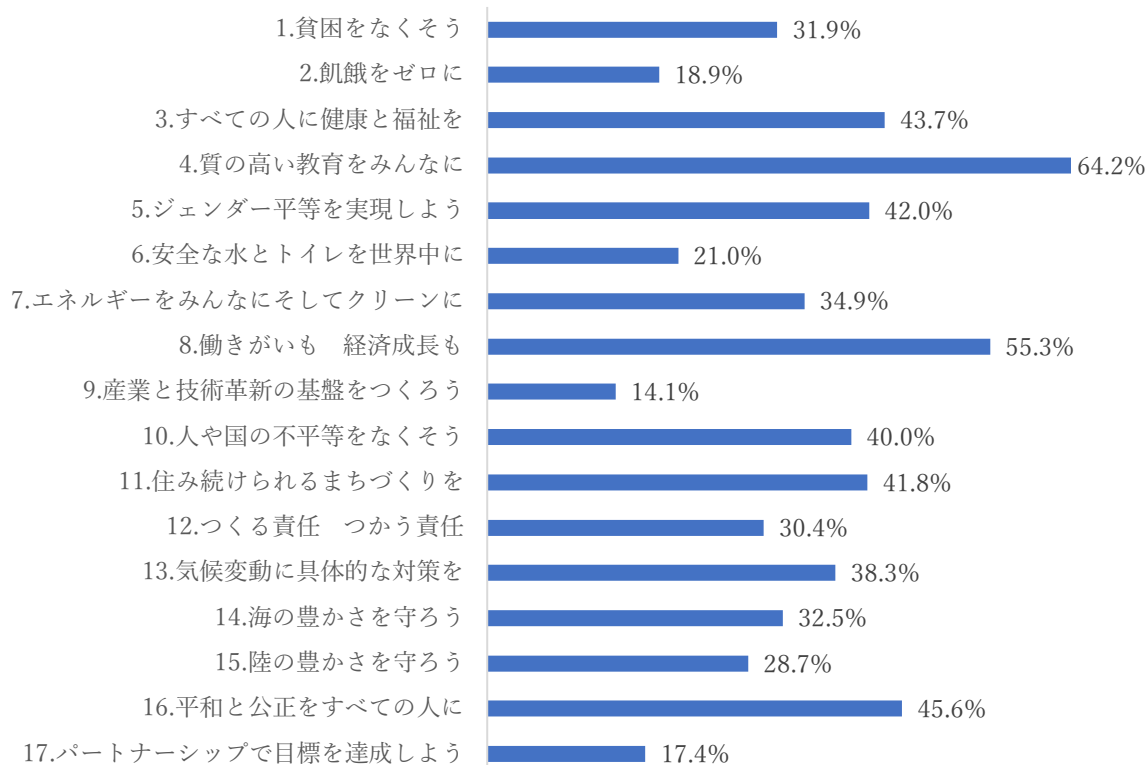


資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

Q 3 SDG s とは「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030 年までに達成すべき 17 の目標」のことで、次の目標の中で、日本が取り組んでいると思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）

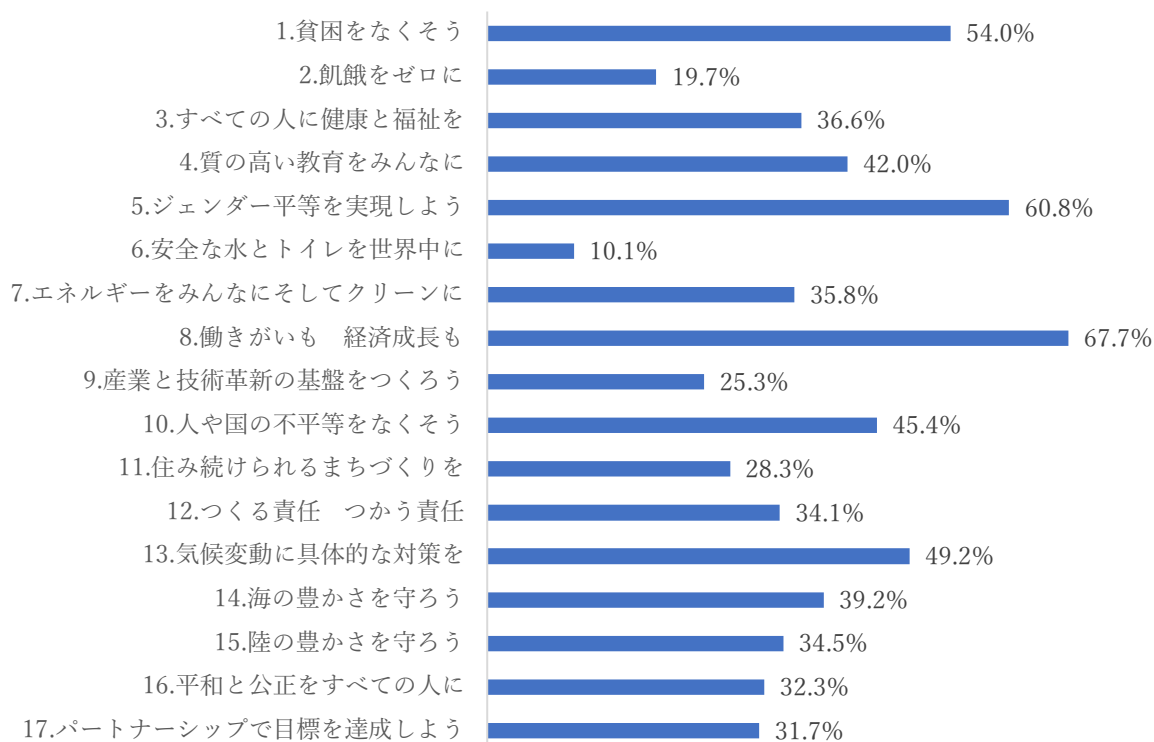


Q 4 SDG s とは「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030 年までに達成すべき 17 の目標」のことで、次の目標の中で特に気になるものものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）

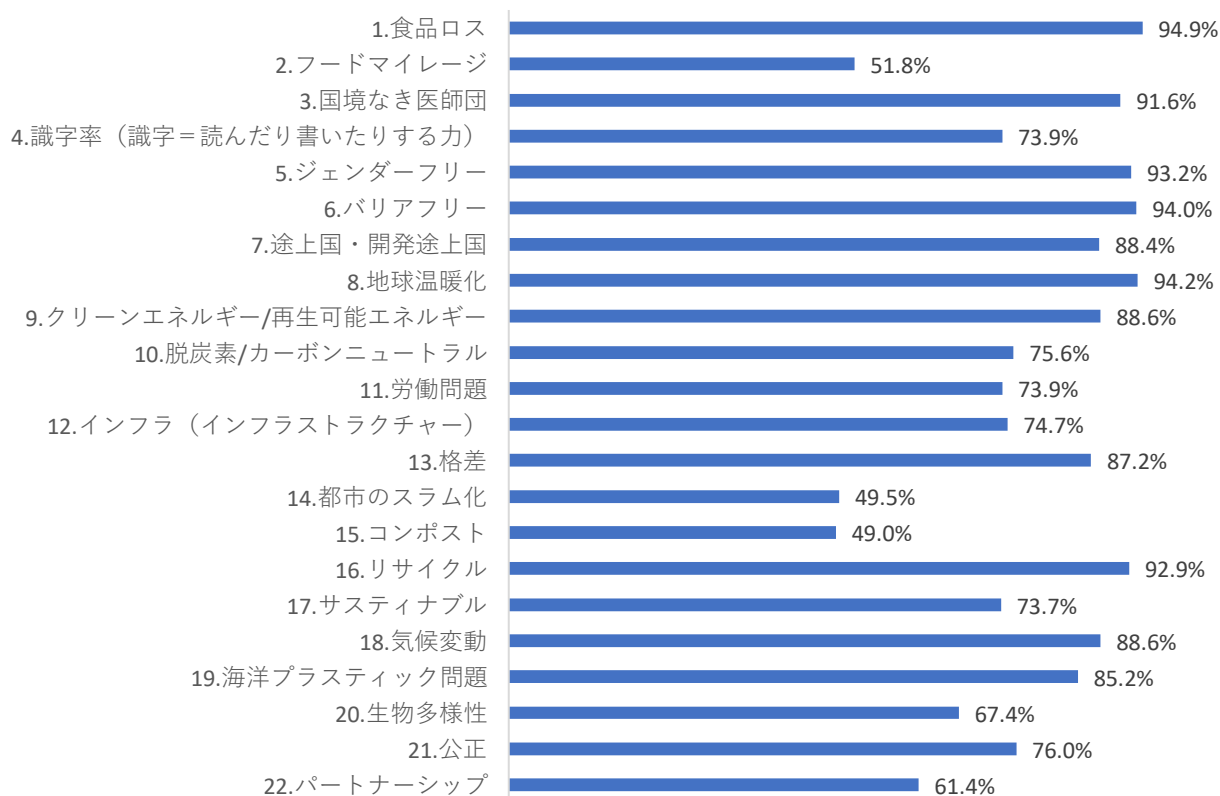


資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

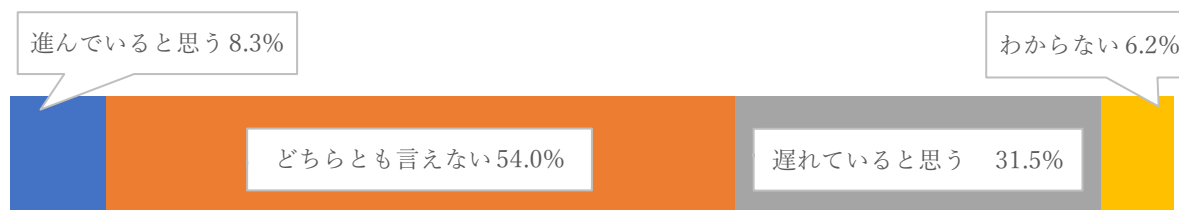
Q 5 SDG s とは「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030 年までに達成すべき 17 の目標」の事です。下の目標の中で日本が達成できていないと思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



Q 6 次の言葉はSDG s に関する言葉です。ご存知のものをすべてチェックして下さい。（複数回答可）



Q 7 日本のSDGsに関する取り組みは、世界の中で進んでいると思いますか。



Q 8 上の質問で、そのお答えを選んだ理由についてお聞かせください。（回答数 431 件）

[主な回答]

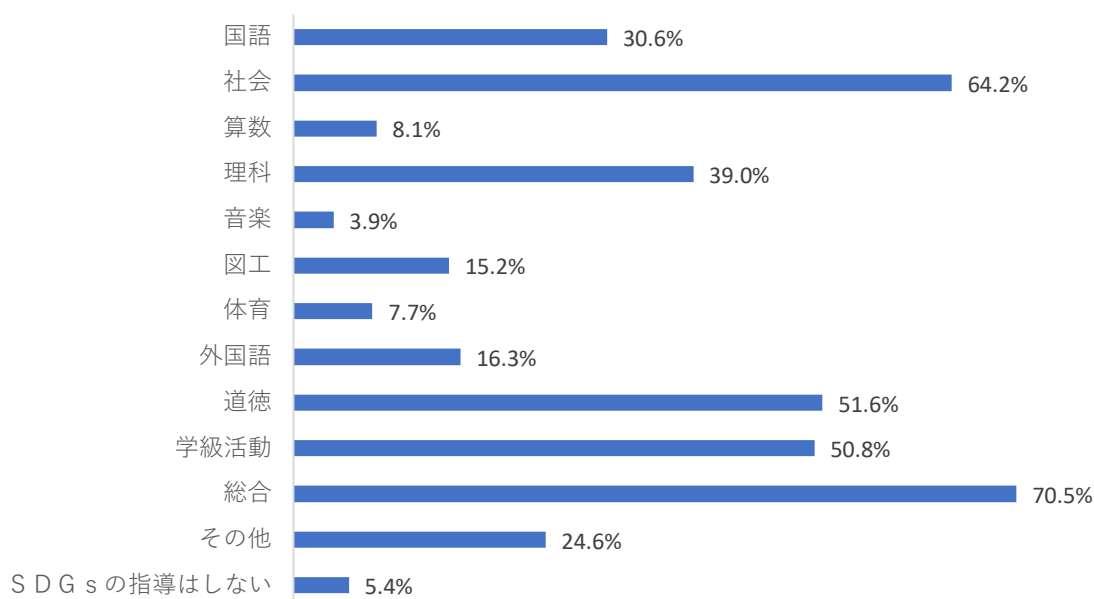
進んでいると思う理由：企業や教育現場での取り組みが進んでいる、メディアで取り上げる機会が多い、子供たちの意識が向上している

遅れていると思う理由：言葉だけが独り歩きして実際の行動が伴わない、他人事と捉えている人が多い、成果を感じられない、ジェンダーフリーなど諸外国に比べて遅れていることが多い

Q 9 SDGsに取り組むことで、地球の未来はどう変わると思いますか。（複数回答可）



Q 10 どのような教科や学習活動でSDGsを扱っておられますか。（複数回答可）



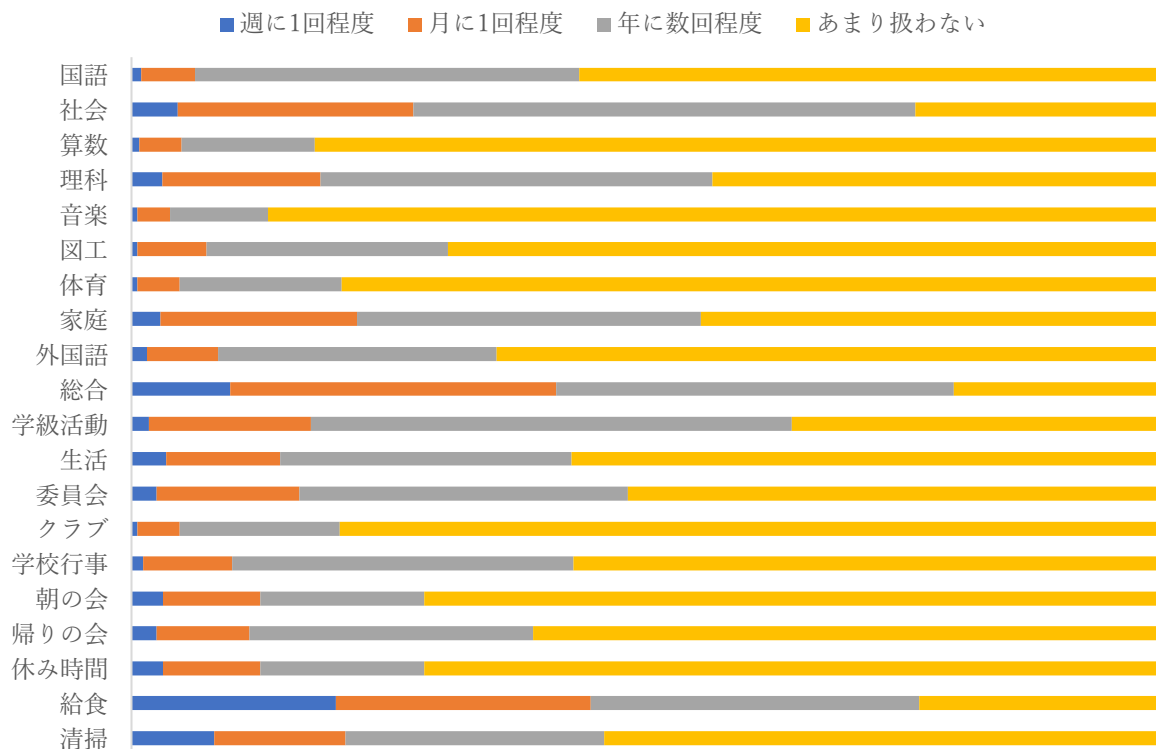
資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

Q 11 SDGsについて、それぞれそれぞれの授業等で取り扱う頻度はどの程度ですか。

最も近いものにチェックをして下さい。（複数回答可）

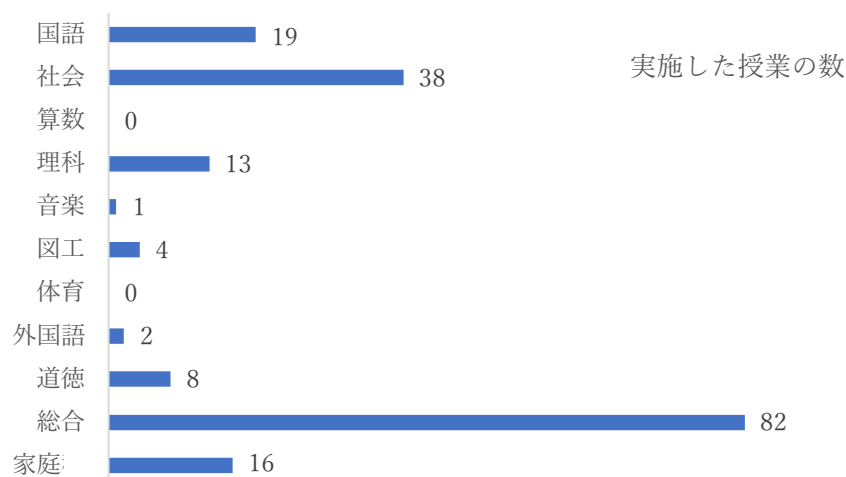
	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	あまり扱わない
国語	0.9%	5.3%	37.3%	56.5%
社会	4.5%	22.9%	48.8%	23.8%
算数	0.8%	4.1%	12.9%	82.2%
理科	3.0%	15.4%	38.1%	43.5%
音楽	0.6%	3.2%	9.5%	86.7%
図工	0.6%	6.8%	23.5%	69.2%
体育	0.6%	4.1%	15.7%	79.6%
家庭	2.8%	19.1%	33.4%	44.7%
外国語	1.5%	6.9%	27.0%	64.5%
総合	9.6%	31.7%	38.6%	20.1%
学級活動	1.7%	15.8%	46.7%	35.8%
生活	3.4%	11.1%	28.3%	57.2%
委員会	2.4%	13.9%	31.9%	51.8%
クラブ	0.6%	4.1%	15.6%	79.7%
学校行事	1.1%	8.6%	33.2%	57.0%
朝の会	3.0%	9.5%	15.9%	71.6%
帰りの会	2.4%	9.0%	27.6%	61.0%
休み時間	3.0%	9.5%	15.9%	71.6%
給食	19.9%	24.8%	31.9%	23.5%
清掃	8.1%	12.8%	25.1%	54.0%

<SDGsを授業で取り扱う頻度>



Q 12 これまでに行った、SDGsを取り入れた授業や活動がありましたらその授業名や活動名とそのねらいとポイントについて教えてください。（回答数 215 件）

[主な回答]



(具体例)

- ・ 国語：私たちにできること、フェアトレード、国際理解等の授業、環境問題の作文
- ・ 社会：地域学習、水とエネルギー、ゴミ処理とリサイクル、環境問題等の授業
- ・ 理科：生物どうしのつながり、クリーンエネルギー等の授業
- ・ 図工：ペットボトルや牛乳パックなどの「リサイクル」作品作り
- ・ 道徳：福祉、人権、豊かな地球、エコ活動等の授業
- ・ 総合：守ろう僕たちの地球、環境問題、貧困、地球温暖化対策等の授業、エコ活動実践
- ・ 家庭：食品ロス、持続可能な生活、リサイクル等の授業

Q 13 上記の質問で、お書き頂いた先生にお聞きします。ねらいやポイントが達成されましたか。また児童生徒の変容について教えてください。（回答数 206 件）

[主な回答]

達成された

- ・すぐに取り組めることを考えたり気をつけたいことを挙げたりするなど意識が変わった
- ・環境問題やエコ活動への関心が高まり、家庭でも取り組みを継続している児童も多い
- ・給食の食べ残しが減った
- ・世界と日本の違いに触れて、世界の課題について考える姿が見られた
- ・知識が広がった。フェアトレード商品に目が向く児童が増えた
- ・性別によって使う色の差がなくなってきた

達成されなかった

- ・あまり大きな変容はなかった。
- ・環境についての理解は進んだが、実践がまだまだ伴っていない
- ・調べ学習に傾いてしまい、具体的な活動まで結び付かなかった
- ・ねらいに近い反応が見られたが、授業後も継続的に興味をもつような工夫が必要

Q 14 SDG s 17 の目標について、子供たちへの指導のしやすさについてお答え下さい。

	指導しやすい	少し指導しやすい	少し指導しにくい	どちらとも言えない
1. 貧困	23.6%	37.5%	29.1%	9.8%
2. 飢餓	29.5%	41.8%	21.0%	7.7%
3. 健康・福祉	31.1%	45.0%	15.9%	7.9%
4. 教育	31.7%	43.2%	16.1%	9.0%
5. ジェンダー平等	19.5%	37.1%	34.9%	8.4%
6. 水とトイレ	37.5%	42.0%	12.2%	8.3%
7. エネルギー	31.9%	41.8%	18.0%	8.3%
8. 働きがいと経済	5.3%	25.9%	55.5%	13.3%
9. 産業・技術革新	10.5%	33.6%	43.3%	12.6%
10. 不平等	27.4%	43.5%	21.4%	7.7%

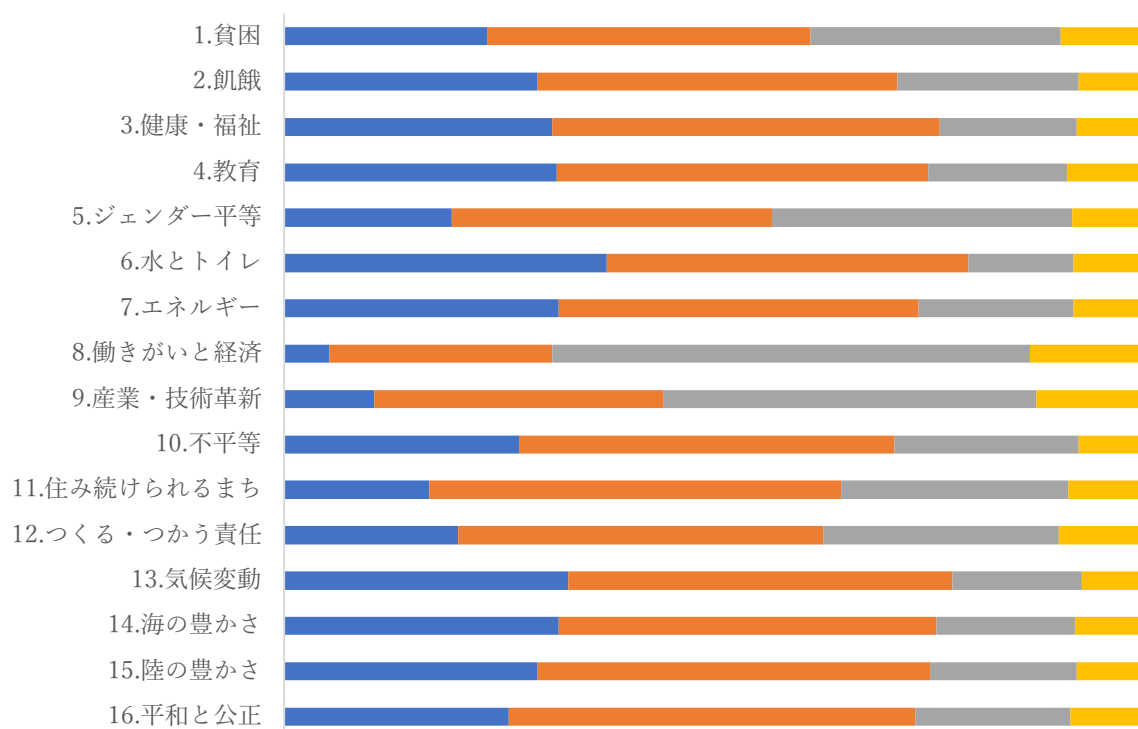
資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

11. 住み続けられるまち	16.9%	47.8%	26.5%	8.8%
12. つくる・つかう責任	20.3%	42.4%	27.4%	9.9%
13. 気候変動	33.0%	44.7%	15.0%	7.3%
14. 海の豊かさ	31.9%	43.9%	16.1%	8.1%
15. 陸の豊かさ	29.5%	45.6%	17.1%	7.9%
16. 平和と公正	26.1%	47.3%	18.0%	8.6%

※質問の回答項目に目標 17 の「パートナーシップ」が抜けておりましたので目標 17 の回答はありません。

<SDGsに関する指導のしやすさ>

■ 指導しやすい ■ 少し指導しやすい ■ 少し指導しにくい ■ どちらとも言えない



Q 15

SDGs に関することで、何かご意見があればご記入ください。(回答数 70 件)

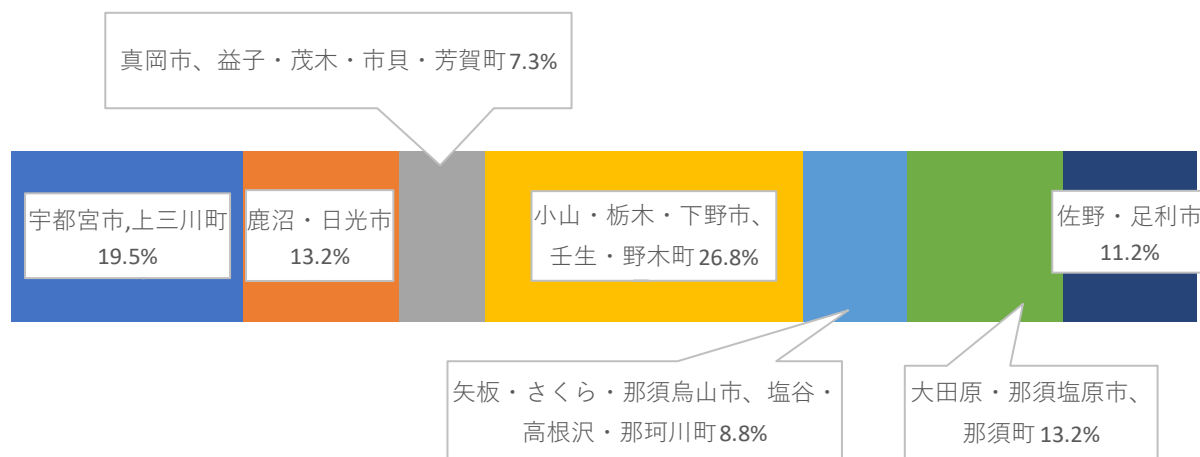
[主な回答]

- ・教材や実践例が必要、指導することが難しい
- ・授業の中で触れることはできるがしっかり指導する時間を割くことは難しい
- ・指導内容が増えることで教員・生徒の負担が増えることのないように求める
- ・出前授業があるとよい

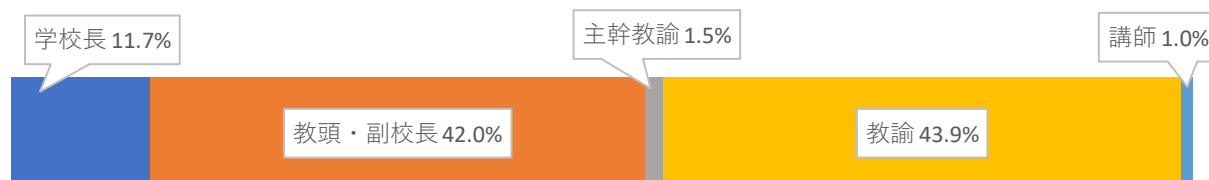
小学校 学校 回答

回答校数 205 校

Q 1 御校のある地区はどこですか。



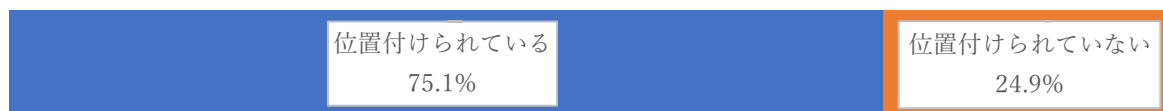
Q 2 このアンケートにご回答いただいている方の、職名をお答え下さい。



Q 3 このアンケートにご回答いただいている方の、教員としての勤務年数をお答え下さい。



Q 4 御校ではSDG sに関する指導について、校務分掌に位置付けられていますか。



Q 5 上の3の質問で「位置づけられている」と回答いただいた学校にお聞きします。
位置付けられている分掌名をお書き下さい。(回答数 51 件)

[主な回答]

環境教育、SDG s、人権教育、ISO、福祉教育、キャリア教育
総合的な学習の時間、生涯学習、性教育、その他

Q 6 SDG sと学校行事を関連させた取組みを行っていらっしゃいますか。



Q 7 上の6の質問に、「行っている」と回答された学校にお聞きします。それはどのような取り組みですか。行事名などでお答え下さい。(回答数 86 件)

[主な回答]

リサイクル回収、地域活動、清掃活動、緑化活動、人権教育活動、修学旅行
校外学習、総合的な学習の時間、委員会

Q 8 SDG sに関する内容を取り扱う場合、学校として困難な点があったらお書き下さい。
(回答数 87 件)

[主な回答]

- ・他の業務で多忙なためSDG sに関する教育の準備に割く時間が確保できない
- ・年間指導計画や校務分掌、指導要領に明確に設定されていないので実施が難しい
- ・教員の知識不足を懸念する、扱う範囲が広すぎる
- ・外部講師とのつながりがまだ少ない

Q 9 SDG s に関する内容を扱ったことがある場合、学校としてよかった点はどんなところかお書き下さい。（回答数 99 件）

[主な回答]

- ・環境問題に対する児童の意識が高まった
- ・グローバルな視点、異文化理解が深まった
- ・学校だけでなく保護者や地域に広めることができ、つながりが深まった
- ・人権や福祉についての意識や関心が高まってきている

Q 10 SDG s の指導に関する取り組みについて、上の回答以外にご意見がありましたら、お書き下さい。（回答数 48 件）

[主な回答]

- ・学年に応じた取り組みを実施している
- ・教育課程や年間指導計画に明確化されていれば実施したい
- ・SDG s など学校で指導する内容が年々増えると、何を学校で扱うとよいか、何を減らすべきか考える必要がある